

かたかなになった漢字

曾	世	須	之	散	己	介	久	幾	加	於	江	宇	伊	阿
ソ	セ	ス	シ	サ	コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
保	部	不	比	八	乃	祢	奴	二	奈	止	天	川	千	多
ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	ノ	ネ	ヌ	ニ	ナ	ト	テ	ツ	チ	タ
乎	和	呂	礼	流	利	良	与	由	也	毛	女	牟	三	末
ラ	ワ	ロ	レ	ル	リ	ラ	ヨ	ユ	ヤ	モ	メ	ム	ミ	マ

ン



かたかなは、主に漢字の一部分をとって、簡単な形にしたものです。中国から伝えられた本や仏教の経典きょうてんを読むために作られました。

平安時代には、お坊さんぼくしやうや学者のような知識階級ちしきかいの男性が、漢字で書かれた文章ぶんしやうを読む時に、送りがなやふりがなとして使いました。

かたかなのもとになった漢字は、ひらがなのもとになった漢字と違ってある場合もあります。たとえば、かたかなの「ア」は「阿」という漢字から作られましたが、ひらがなの「あ」のもとになったのは、「安」という漢字だといわれています。

p.16の表と比べてみてください。